愛知

愛知さんぽセンターの連携業務の推進

愛知産業保健総合支援センター 副所長 余語 修一郎

愛知産業保健総合支援センターは、名古屋のど真ん中、 栄のNHK名古屋放送センタービル2階に事務所を構えて います。事務所には研修室を備えており、この研修室は 明るく衛生的な空間で、利便性も良いことから、利用者 の方々に大変ご好評をいただいております。WEB研修は もちろん、感染対策を徹底した上で、産業医向け研修、 両立支援コーディネーターのための事例検討会や交流会 などを"Withコロナ"のなか、ご要望の多い集合研修の

distribution of the second of

▲愛知産業保健総合支援センターのあるNHK名古屋放送センタービルの外観

再開にも取り組んでいます。

当センターの事業の周知のため、他機関との連携にも積極的に取り組んでいます。労働基準協会が主催する全国労働衛生週間説明会では、講演テーマを協議し、講師としてセンターの相談員等を派遣するなど、当センター及び地域産業保健

センターのPRを行っています。

全国の産業保健総合支援センターは8つのブロックに 分かれており、当センターは中部ブロックに所属しています。この中部ブロックでは今後のセンター事業について定 期的に意見交換を行っており、直近では「地域窓口の運 営について」をテーマに意見交換を実施しました。予算や 人的資源を最大限活用し、今後も利用者の皆様のお力 となれるよう努めてまいります。

愛知県内には、中部ろうさい病院と旭ろうさい病院のほか、愛知県がんセンター愛知病院、複数の大学病院等があります。当センターはこれらの病院と連携し、治療と仕事の両立支援に取り組んでいます。特にろうさい病院とは、両立支援相談窓口の設置はもとより、両立支援コーディネーターのための事例検討会や交流会の開催をしており、緊密に連携して取り組んでいるところです。

2022年度の事例検討会は、ろうさい病院からMSW、



▲事例検討会風景

公認心理士にご出席いただき、医療機関・企業関係者・ 支援機関等が混合で4グループを編成し、グループワー クを行いました。グループワークは5分延長となるなど活 発な議論もあり、参加者から大変好評をいただきました。

このほか、がんセンター病院や大学病院では両立支援 に係るミニセミナーの開催等も行っております。このミニ セミナーは、病院の利用者が多く集まる昼時の待合室で、 定期的に開催しています。モニターを使用するなどによ り、治療と仕事の両立支援について分かりやすく説明し ています。講師との距離も近いので、質問にもすぐに対 応していますし、病院に勤務されている方々への意識啓 発にもつながっていると考えています。

更に、2021年度からは、健康保険組合や経営者協会、 港湾貨物運送事業労働災害防止協会とも連携して両立支 援の普及、促進に取り組んでおり、協会報への寄稿、セ ミナー講師の派遣など新たな関係を築くことができました。

当センターには、様々な機関と積極的に連携し、業務を 推進していく風土があります。今後もこの風土を守り、発展 させていけるよう業務を進めてまいりたいと考えております。

皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。



▶両立支援ミニセミナーの様子

26 産業保健 21 2023.1 第111号

鹿児島

中小規模事業場への「治療と仕事の両立支援」 制度の普及に向けて

鹿児島産業保健総合支援センター 副所長 神村 健一郎

鹿児島産業保健総合支援センターがある鹿児島県は、南北約600kmと広大で、度重なる噴火が話題の活火山桜島、世界遺産の屋久島や奄美大島などの多くの離島、稀少な砂蒸し風呂で有名な指宿温泉をはじめとした多数の温泉地を有するなど自然が大変豊富なところです。

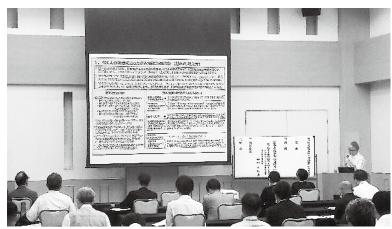
その豊かな自然や温暖な気候などの風土を活かした食文化から、県内の主要産業としては、さつまいも生産などの農業、豚・牛・鶏などの畜産業、広大な海域を活かした漁業や養殖業が盛

んで、これらの第一次産業が占める割合は全国的に見て高い傾向にあります。また、農作物、畜産物、水産物が豊富に集まることから、これらの食品加工などの産業も多くなっています。

一方で、産業構造の側面では、鹿児島県においても卸・ 小売業、医療・福祉業などの第三次産業の割合が高く なってきており、高年齢者の増加などに伴い、特に医療・ 福祉関係の事業場数が増加している状況にあります。

さて、当センター事務所は、鹿児島市の玄関口である 鹿児島中央駅近くのビルの一角にあり、所長以下職員7 名(非常勤を含む)の小さな職場ですが、様々な課題と向 き合いながら業務を行っています。ここ数年来、新型コ ロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会や個別訪 問等が以前のようにできない状況にあります。対面形式 の研修では従来よりも定員を減らし感染防止対策を講じ た上で開催するほか、コロナ禍においても事業場等の産 業保健関係者への効率的な支援、周知等を行うべく、オ ンライン形式での研修会やセミナー開催なども少しずつ 増やしているところです。

センター事業の重点取組である「治療と仕事の両立支援」については、周知啓発に努めているものの、県内には中小規模事業場が多く、事業場の認知度や取組としてはまだまだ低い状況です。そのような状況を踏まえ、昨年8月には、県内の経営者団体と連携して治療と仕事の



▲セミナー風景

両立支援をテーマにセミナーを開催し、県内各地の中小規模事業場の経営者や労務管理者など約50人の方に参加いただきました。当センターの両立支援促進員による両立支援制度の背景、支援の進め方、事業者としての取組事例など約1時間の講演でしたが、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。今回のセミナーを契機に、事業者の「治療と仕事の両立支援」に対する理解の深まりや支援制度の普及に期待するところです。

また、労働局が設置した鹿児島県地域両立支援推進 チームには、労使団体や医療・福祉等の団体のほか、両 立支援に先進的に取り組む労働安全衛生コンサルタント 会鹿児島県支部、鹿児島県薬剤師会が参集し、年1回 開催の推進チーム会議では当センター所長を座長に積極 的な意見交換が行われるなど、地域における両立支援制

度の普及啓発に協働して取 り組んでいるところです。

当センターとしても、2021 年度にリニューアルしたチラシを活用し、引き続き事業場への両立支援制度の普及啓発に力を注いでまいります。





▲当センター作成 治療と仕事の両立支援チラシ

◀鹿児島産業保健総合支援センターHP

2023.1 第 111 号 産業保健 21 27